

令和4年度事業報告について  
【令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

令和4年度一般事業報告

1 情報発信事業

(1) メディアを活用した情報発信

効果的、効率的に観光情報を発信するため、新聞、雑誌、テレビ、FMラジオなどへ旅行者にとって磨き上げた地域性や新規性などが分かる内容を情報提供しました。

(2) 観光宣伝印刷物の頒布による情報発信

電話やFAX等で資料送付依頼のあった旅行会社、企業、個人の方に対し、観光、宿泊施設、食事処、土産品、近隣の観光情報等のパンフレットおよびチラシを送付し、集客に努めました。

(3) SNSを利用した情報発信

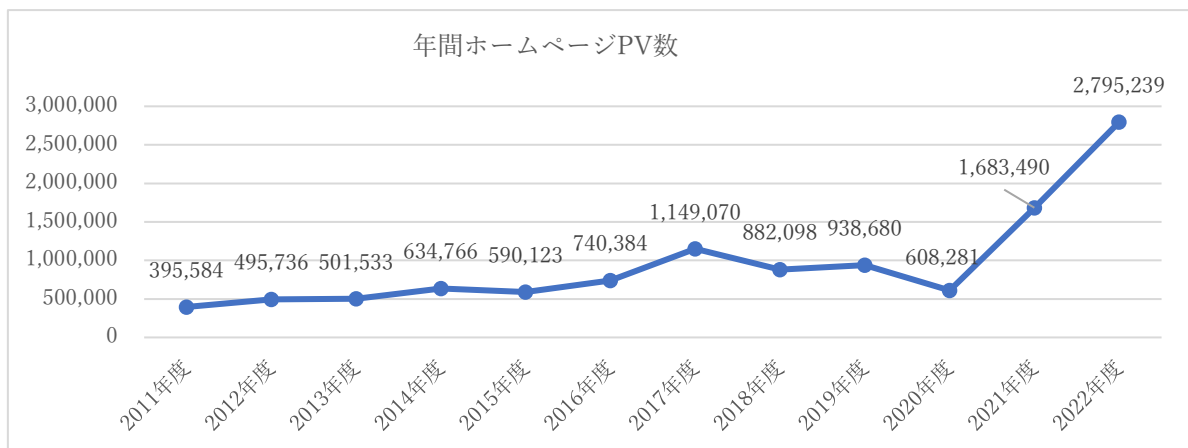
観光においても観光客側、観光客誘致者側の双方から注目されているTwitterやFacebook、Instagramの公式アカウントを引き続き運営。タイムリーに発信するとともに、小田原市観光協会ウェブサイトと連携し、各種新規事業の告知を行いました。

(4) 小田原市観光協会のウェブサイトの運営

これまでの観光協会のHPはイベント情報と観光施設の情報が中心でしたが、閲覧者のニーズに合わせ、個人旅行向けのコンテンツの造成を積極的に行いました。

また、検索順位対策（SEO対策）の強化を行い、検索ボリュームのある観光関連のキーワードで上位表示に成功しました。

その結果、令和4年度は年間約280万PVとなり、コロナ以前の2019年の93万PVと比較すると約3倍となりました。



## 2 誘致宣伝事業

### (1) 地域の観光資源を活用したプロモーション事業

#### ① メディアとの連携

情報発信力の強いメディアを活用し、テレビ・新聞・旅雑誌などに小田原情報の掲載依頼や編集タイアップを行うことにより、小田原の旬の魅力を全国に発信しました。

また、テレビ取材等に対応するため、引き続き観光協会内の担当窓口を一元化し、より効率的かつ効果的な情報発信に努めました。主なテレビ放映は次のとおりですが、令和4年度は160本の実績があり、前年度対比23パーセントの露出増となりました。

#### ② 大都市圏などでの広報活動

お城EXPO 2022

会期 12月17日(土)・18日(日)

会場 パシフィコ横浜ノース

### (2) 広域連携事業等への参加

#### ① 北条五代観光推進協議会への参画

北条氏にゆかりのある行政、観光協会が連携し、北条五代の大河ドラマ化に向けた取り組みや、更には各地域の観光事業の連携推進を図りました。

#### ② かながわ西観光コンベンション・ビューローへの参画

県西地域2市8町を対象とする地域連携DMOである「かながわ西観光コンベンション・ビューロー」に参画し、毎月1度のミーティング(コロナ禍で中止の場合あり)では国内外からの来訪者数や傾向、地域のイベント情報等を共有しました。会員が得意分野を生かし3つの分科会に分かれ、エリアターゲットの設定や各チームからの提案をまとめるプロジェクトマーケティングチームに属し、観光情報の収集やデータベース化、それを生かした企画を具体化することに取り組むとともに、本観光協会の近況報告・PRなども毎回情報提供しました。

#### ③ 箱根八里街道観光推進協議会の参画

「箱根八里」の魅力を国内外に発信し、交流促進等による地域の活性化を図るため、小田原市・箱根町・三島市・函南町の2市2町で構成する同協議会へ書面表決で参画しました。

#### ④ 県西地域活性化推進協議会への参画

県西地域活性化プロジェクトを推進するために地元市町・県・団体等で構成された同協議会へ引き続き参画し、県西地域の多彩な資源を生かして「未病を治す」

実践の場とすることを通じて地域の活性化に取り組みました。

### 3 観光行催事の振興事業

#### (1) 令和4年小田原桜まつり

期 日 令和4年3月21日(祝・月)～4月12日(火)開花期間中

主な会場 小田原城址公園

関連名所 長興山紹太寺しだれ桜・城山公園・沼代桜の馬場

実施内容 令和4年の「長興山紹太寺のしだれ桜」は、3月21日に開花して3月28日に満開を迎えました。「小田原城址公園」は、3月23日に開花して3月31日に満開を迎えました。

推定観客数 384,000人

#### (2) 北條五代 歴史と文化の祝典(第58回小田原北條五代祭り 流用事業)

期 日 令和4年5月3日(火・祝)

会 場 小田原城址公園とその周辺及び小田原三の丸ホール

実施内容 新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえ、市外への観光PRを行わず「北条時代の歴史や文化を通じて領民のために善政を行った五代を称える行事」として開催しました。

推定観客数 135,000人

#### (3) おだわら応援花火プロジェクト(第33回小田原酒匂川花火大会 流用事業)

期 日 令和4年8月6日(土)

実施内容 小田原酒匂川花火大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から観客が集中して3密が避けられない状況が予想されることから、来場者の健康と安全を最優先に考えた結果、観客の分散を図り、御幸の浜、酒匂川栢山付近、小田原アリーナ周辺、酒匂川スポーツ広場周辺の4会場から、それぞれ5分間に75発の花火を打ち上げました。

推定観客数 5,000人

#### (4) 第31回小田原ちょうちんまつり

期 日 令和4年10月2日(日)12時00分～19時30分(出店は20:00まで)

会 場 小田原城址公園(二の丸広場・本丸広場)及び小田原市観光交流センターにぎわい広場

実施内容 小田原城址公園二の丸広場で地元中・高校生の吹奏楽部による音楽祭、自治会みこしパレード、アクロバットや笑いを盛り込んだ「風魔

忍者演武」を実施。夜は大ちょうちんの点灯式に続き、小田原ちょうちん踊り、小田原城太鼓合戦が会場を盛りあげたほか、飲食・物販ブースも午後8時まで営業し、多くの観客で賑わいました。

推定観客数 58,000人(10月2日のみ)

関連事業 小田原ちょうちん光アートフェア

令和4年9月24日(土)から10月23日(日)の約1ヶ月間、小田原市内の小学生が製作した手作りちょうちん約1,700個を展示。

更にレーザーショーやイルミネーション等の光の演出が加わり、幻想的な空間を演出。

推定観客数 57,300人(30日間)

#### (5) 小田原城オーロライルミネーション(第58回小田原北條五代祭り 流用事業)

期 日 令和4年9月24日(土)～10月23日(日)

会 場 小田原城址公園本丸広場

実施内容 レーザー光線とスモークマシン等を駆使し、音楽を融合したレーザーショーを実施するなど、小田原城址公園本丸広場を幻想的な空間に演出しました。

また、小田原駅前周辺商店街等と協力し、商店街へちょうちんの装飾をしていただくなど、市内回遊性向上と夜の経済喚起を図り誘客に努めました。

なお、期間中の土・日曜日・祝日の小田原城天守閣の開館延長を行い778名の入館者数を上げました。

推定観客数 57,300人(小田原ちょうちん光アートフェアと同時開催)

#### (6) 第38回一夜城まつり

期 日 令和4年10月16日(日) 午前10時00分～午後3時00分

会 場 石垣山一夜城

実施内容 豊臣秀吉が小田原攻めの拠点とした石垣山城の跡地で行われる恒例のお祭り。当日は、特設舞台で和太鼓演奏や風魔忍者ショー、甲冑隊パフォーマンス、サムライソードパフォーマンス、お囃子などが披露されたほか、歴史ナビゲーター・長谷川ヨシテルさんのトークショーや早川商工振興会によるお土産抽選会も実施しました。

推定観客数 5,000人

#### (7) 第72回小田原城菊花展

期 日 令和4年11月3日(木・祝)～15日(火)

会 場 小田原城本丸広場

実施内容 小田原城のミニチュアを小菊で飾った「小菊総合花壇」のほか、厚物、管物、盆栽、懸崖、七本仕立て、だるま作り、スプレー菊など、約600点を展示。今回は感染防止対策として中止していた、小田原清香会による「菊苗の即売所」や「菊作り相談所」も復活しました。

推定観客数 130,000人

#### (8) 第53回小田原梅まつり

期 日 令和5年2月4日(土)～26日(日)

会 場 曾我の梅林(別所会場)、小田原城址公園

開催内容 約35,000本の白梅が咲き、富士山との風景も美しい曾我梅林と、天守閣や銅門などを背景に約250本の梅を楽しめる小田原城址公園の2会場で、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら曾我梅林と小田原城址公園にて開催しました。

推定観客数 415,000人(別所会場280,000人+城址公園135,000人)

#### (9) まち歩き回遊事業 謎解き城下町歩き

期 日 令和4年4月1日(金)～9月30日(金) 6ヶ月間

会 場 小田原城址公園及び南町周辺等

実施内容 ファミリー層、友達、会社の仲間、学校関係者など多くの方に体験していただきました。謎解きしながら本市の歴史や文化を学び、小田原のまち歩きを楽しんでいただき、更にまち歩きの促進と回遊性の向上が図れました。

参加人員 1,775人

#### (10) 風魔忍者誘客事業

##### ①日本忍者協議会への参画

日本忍者協議会は、これまで謎に包まれてきた忍者という存在を日本の文化資産として世界に発信することを目的として、自治体など関係団体によって構成される世界唯一の忍者の公式組織です。国をはじめ、自治体、大学、観光協会、民間団体、事業所があらゆる垣根を越えて集結し、忍者の学術研究や情報収集・情報発信を行い、忍者による地域経済の活性化に取り組んでいます。本協会は日本忍者協議会に昨年度に引き続き参画し、観光関連事業、忍者文化振興事業に重点をおいた活動を推進しました。

##### ②風魔忍者アクション人材育成

世界で知らない人がいないNINJA。このコンテンツを活かし国内およびインバウンド向けに他派の忍者との差別化を明確にし、小田原・風魔忍者ブランドの確立を目指す。風魔忍者の本拠地である小田原で風魔忍者を養成し、風魔忍者アクションショーを開催することで「小田原・北条氏・風魔忍者」のキーワードを一体化させ、「Cool・Real・Sharp」な風魔忍者アクションを目指し認知度とファンの増加を図りました。

### ③その忍び、風魔（第33回小田原酒匂川花火大会 流用事業）

期 日 令和4年9月1日（木）～令和5年3月31日（金）

会 場 小田原市観光交流センターにぎわい広場、小田原城（本丸広場・二の丸広場）、お城通り商店街、お堀端通り商店街、海老名ビナウォーク [おだきゅうFamily funフェスタ]、パシフィコ横浜ノース [お城EXPO2022]、石垣山城 [一夜城まつり]

実施内容 小田原北条氏を影で支えた風魔忍者の活躍を描いた風魔忍者アクションショー等を風魔忍者養成講座受講者等により迫力ある風魔忍者ショーを市内外各所で実施することで小田原風魔忍者の知名度アップとファンの増加につなげると共に、本市のPRと誘客に努めた。

累計観客数 5,000人

### ④風魔NINJAウィーク

期 日 令和5年2月19日（日）～26日（日）

会 場 小田原市観光交流センターにぎわい広場・小田原城NINJA館・小田原駅前商店会・お堀端商店街

後 援 小田原市

協 賛 明治安田生命保険相互会社・湘南電力株式会社

実施内容 2月22日（水）の「忍者の日」を記念し、（一社）小田原市観光協会と小田原城本通り活性化協議会（構成団体：小田原駅前商店会・お堀端商店街振興組合）の共催で開催し下記の事業を行いました。

#### ・風魔忍者ショー&風魔忍者剣術修行体験

土日祝日限定で風魔忍者ショーを開催。2月25日（土）のみお堀端商店街で開催し、ショーに加えて、忍者コスプレで来場された方にゴム手裏剣のプレゼントや子供向け風魔忍者剣術修行体験を実施。

#### ・風魔忍者特別メニュー&グッズの提供【10店舗】

風魔忍者をコンセプトにした期間限定の特別メニューとグッズを提供。

- ・風魔忍者ウィーク案内チラシ&MAPの作成【25,000枚】  
城址公園周辺と街中を楽しんで回遊できるようチラシ兼マップを  
作製し配布。
- ・顔出しパネルフォトスポットの設置【商店街に4か所設置】  
風魔忍者イラストの顔出しパネルを商店街のべ4か所に設置
- ・風魔忍者重ね捺しスタンプラリーの実施【3か所6スタンプ】  
両商店街とNINJA館にスタンプを設置。完成すると北条陣幕 マスク  
をプレゼント。

#### (11) 協賛事業

地域で自主的に開催している観光イベントを本協会として支援しました。

##### ① 曾我の傘焼きまつり（3年ぶりの開催）

期 日 令和4年5月21日（土）13:00～20:30  
場 所 下曾我駅前、梅の里センター駐車場、市民集会施設ふれあいの郷  
入込客数 500人

##### ② 令和4年度小田原城あじさい花菖蒲まつり

期 日 令和4年5月28日（土）～6月19日（日）  
場 所 小田原城本丸東堀・花菖蒲園  
入込客数 221,000人

##### ③ 2022年ODAWARAえっさホイおどり

期 日 令和4年11月12日（土）・13日（日）  
場 所 小田原駅前商店街・お堀端通り・小田原市観光交流センター 他  
入込客数 10,000人

## 令和4年度DMO推進事業報告

### 1 マーケットデータの収集・分析

小田原来訪者を対象に属性、旅行形態、消費額、観光ニーズ、再来訪意向などの調査を実施することにより、観光客の経年変化やウイズコロナ時における変化を確認し、今後の観光施策の基礎データとすることを目的に、令和4年4月からオンラインによる観光アンケートを実施しました。

令和4年4月30日（土）～令和5年3月31日（金）に、3,568名（うち小田原市民95名）の回答があり、集計・分析を行いました。

※なお、令和4年4月23日（土）～4月29日（金）には旧バージョンの設問でアンケートを実施、100名（うち小田原市民15名）の回答がありました。

### 2 小田原城の魅力向上と新たな観光コンテンツの開発

小田原城本丸広場での地域商品の販売やNINJA館の魅力向上により集客力を高めるとともに、小田原城から市街への回遊性の向上となる施策を実施しました。

- ・お城でマインドフルネス瞑想事業 令和4年5月～10月の10日間 参加者104名
- ・小田原名産品の本丸広場展開

4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月、2月、3月

- ・新たな観光コンテンツ開発としてのまち歩き立ち寄り店舗の開発 6店舗
- ・ねんりんピックかながわ2022ツアー造成事業 11月13～15日 参加者22名
- ・子ども向け歴史リアル謎解きゲーム「謎の城」 in小田原城

令和4年11月1日～令和5年3月21日 参加者618名

- ・小田原城チケットで割引キャンペーン 令和5年2月4日～26日 参加者209名

### 3 戦略的な情報発信・プロモーション

広報PR効果が高いテレビ、新聞、雑誌、ラジオ、ウェブ、SNS等のメディアに積極的な情報発信を行い、小田原のブランディング醸成と戦略的な情報発信を継続実施しました。令和4年4月から令和5年3月までの1年間に、160回のテレビ放映がありました。

また、鉄道各社（小田急、JR東日、JR東海）等と共同して、観光プロモーションを実施しました。

- ・JR東日本「駅からハイキング」 871名参加 10月～12月
- ・JR東海「さわやかウォーキング」 1,019名参加 2月
- ・小田急電鉄との連携 ビナウォークでのイベント開催 12月



- ・お城エキスポでのプロモーション 13,624名入場 12月

#### 4 観光に関する地域の合意形成

観光まちづくり推進懇話会では、「小田原市観光戦略ビジョン」の令和4年度の改定を見据えて、「文化観光」を視点にした観光施策の推進を、関係団体と引き続き議論しました。議論終了後には、文化観光推進を新たなビジョンに位置付けてもらうため、「小田原における文化観光推進」についての提言書を市長あて提出しました。

また、関係団体と観光戦略、DMO活動に関する合意形成を図り、観光関連団体等の窓口としての活動を実施しました。

- ・観光まちづくり推進懇話会開催 5月、7月  
「小田原における文化観光推進提言書」市長あて提出 10月
- ・かながわ西観光コンベンションビューロー（DMO）との連携
- ・神奈川県観光協会（DMO）との連携
- ・関東運輸局主催の関東観光広域連携（TOKYO&AROUND TOKYO）への参画
- ・関東運輸局との連携
- ・小田原地魚大作戦協議会の運営
- ・小田原まち歩き実行委員会の運営

#### 5 市民参画の機会づくり

小田原の歴史について理解を促進するために、小田原城、総構、一夜城の歴史をまとめたパンフレットを作成しました。北条の歴史ツアーは年間5ツアー企画開発・販売し、79名の参加がありました。

また、市内の小学生を対象とした「市民向け小田原こども歴史検定ツアー」を3回実施（10月～12月）し、親子10組22名の参加がありました。

#### 6 フォーラム開催による小田原観光の情報発信

日本観光振興協会との共催による「全国産業観光フォーラム」と、小田原まち歩き実行委員会の主催による「日本まち歩きフォーラム」を開催、まち歩きを中心とした小田原観光の取り組みを発信しました。

- (1) 全国産業観光フォーラム 6月27、28日 参加者1日目184名、2日目134名  
小田原のなりわいツーリズム（産業観光）を参考に、産業観光とまち歩き観光のあり方を研究し、小田原の産業観光とまち歩き観光を全国に発信しました。
- (2) 日本まち歩きフォーラムin小田原 10月21・22日 参加者1日目80名、2日目50名  
「誰もが楽しめるまち歩き」として、「ユニバーサルまち歩き」をテーマに開催。  
最新のまち歩き観光とユニバーサルまち歩きの実証実験の発表、まち歩きツアー

を実施しました。

## 7 地域独自の観光資源を活用した看板商品創出事業（観光庁交付金事業）

「心と体を解き放つ小田原の新しい健康旅～歴史文化が息づく城下町を巡りながら美食と癒しをとことん味わう特別体験～」をテーマに、観光庁補助金事業として実施しました。

健康経営に取り組む企業を対象に、楽しく健康について学べる「ヘルスツーリズムプログラム」を小田原独自の資源を活用して4ツアー造成し、関係者向けのセミナーを開催、モニターツアーを実施したのち商品として完成させ、旅行会社を窓口として販売を開始しました。

## 8 インバウンド施策

ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた広報活動を促進するとともに、訪日外国人向けの体験ツアー商品の販売を開始、コロナ収束後に向けた訪日外国人誘客につなげました。

### （1）小田原観光の英語版ウェブサイト制作

インバウンド需要の回復に向け、主要ターゲットとする欧米豪向けに、小田原の観光情報を包括的に発信する英語サイトを観光協会ホームページに構築、公開しました。

### （2）英語版パンフレットの改訂

発行していた英語版パンフレットの内容を刷新、分かりやすい表現、最新の情報を掲載した新パンフレットを作成し、配布を開始しました。

### （3）インバウンドツアーの販売・催行

秋以降の訪日外国人の増加を受け、小田原城天守閣やNINJA館の営業時間外を利用した高付加価値のインバウンド向け体験ツアーの販売を開始、催行しました。

## 令和4年度小田原城天守閣等指定管理事業報告

3年契約で再受託した小田原城天守閣等指定管理業務の最終年、初めて受託してから通算6年目となった令和4年度は、ウィズコロナ、そしてアフターコロナへと状況が変化していく1年となりました。年度当初はまだコロナウィルスの影響が色濃く、天守閣の入場者数はコロナ前の7割程度で推移しましたが、その後回復傾向となり、10月にはコロナ前(令和元年度)の110%を記録。通年ではコロナ前比90%、対前年比では140%という結果となりました。

さらに、大きなトピックとして、令和5年度以降の小田原城天守閣等指定管理業務について、5年契約にて小田原市から業務を受託することが決定いたしました。次年度以降も本市の主要な観光施設である小田原城天守閣等を活かし、市民の歴史文化意識の向上、観光振興の推進に寄与していく所存です。

### ①入場者数と入場料収入

#### ■令和4年度の入場者と対前年比

	天守閣	SAMURAI 館	NINJA 館
令和4年度	524,201人	145,934人	96,079人
対前年比	140.0%	136.3%	140.3%

※参考：コロナ前の令和元年度比

	天守閣	SAMURAI 館	NINJA 館
令和元年度比	90.4%	114.6%	80.8%

### ②施設運営について

施設運営にあたっては、前年度までと同様、本市の主要な観光施設である小田原城天守閣等を活かし、市民の歴史文化意識の向上、観光振興の推進に寄与することを目指してきました。また、お客様の安全確保に努めるとともに、スタッフ全員が「おもてなしの心」を持って迎え、お客様の満足度をより高められるよう留意してきました。

さらに、これまで以上に多様化する観光客に対応し、入場者数を少しでも増やしていけるよう、プロモーションや他団体との連携を強化していくとともに、アフターコロナを見据えたインバウンド対応を進めてきています。なかでも特に力を入れた事業は次のとおりです。

#### ■鉄道事業者や観光交流センターとの連携強化

- ・JR 東海ツアーズの「ずらし旅」に参画、2館共通券と御城印のセットを提供
- ・JR 東海の「旅のコンテンツポータル」に小田原観光交流センターと共同で参画

- ・小田原観光交流センターとの「半券で100円割引キャンペーン」実施
- ・小田急電鉄が運営する電子チケット「EMot」で2館共通券を販売など

#### ■インバウンド受け入れ対応強化

- ・海外向けチケット販売サイトの最大手「ゲットユアガイド」で天守閣入館券の販売開始
- ・電子チケットのアソビューと提携した海外のチケット販売サイトにて3館のチケット販売開始
- ・インバウンド向けのツアー（小田原観光、忍者体験、小田原城回遊、マインドフルネス講座など）を造成・販売
- ・英語による小田原観光WEBサイトを構築・公開
- ・英語による小田原観光パンフレットを新規に作成、配架など

### ③実施したおもな施策について

#### ■施設運営管理上の施策

- ・天守閣開館延長（桜まつり）実施 3/26～4/10
- ・天守閣開館延長（GW）実施 4/29～5/6
- ・POS連動の新デザインチケット運用開始 5/16～
- ・天守閣開館延長（あじさい花菖蒲）実施 5/28～6/19の土日祝日
- ・天守閣開館延長（夏期休暇）実施 7月、8月の土日祝日とお盆期間
- ・天守閣にひかり電話を導入 7/27
- ・天守閣開館延長（ちょうちん光アートフェア）実施 9/24～10/23の土日祝日
- ・天守閣すす払い実施 12/14
- ・天守閣等に門松、注連縄を設置 12/26～1/7
- ・元日（2023/1/1）天守閣特別開館実施 入場者1,798人
- ・電子チケットEMot（小田急電鉄）導入、2館共通券販売 3/1～

#### ■誘客・PRのための施策

- ・本丸広場にて桜のライトアップ実施 3/26～4/10
- ・銅門広場にて春のイルミネーション実施 3/26～4/10
- ・NINJA館でおもてなし忍者事業実施 7/28～8/31の土日祝日とお盆期間
- ・戦国IXAとのコラボ企画実施 9/1～11/30
- ・小田原ちょうちん&光アートフェア実施 9/25～10/23
- ・子ども向けリアル謎解きゲーム in 小田原城実施 11/1～3/21
- ・小田原城菊花展実施 11/3～11/15

- ・ かながわ県西デジタルスタンプラリーに協力（NINJA 館） 12/17～2/19
- ・ お城 EXPO2021 に出展 12/17～12/18 の 2 日間、小田原城・石垣山城を出展
- ・ 天守閣チケットで観光交流センター100 円割引キャンペーン実施 2/4～2/26
- ・ 小田原梅まつり実施 2/4～2/26
- ・ 小田原 e-sports 信長の野望コラボ企画実施 2/18～3/19

■ 自主財源確保のための施策

- ・ 桜バージョン御城印販売 3/19～4/29
- ・ 紫陽花バージョン御城印販売 5/14～7/23
- ・ 蓮風鈴バージョン御城印販売 7/28～9/17
- ・ 戦国 IXA コラボ御城印販売 9/1～9/23
- ・ ちょうちんバージョン御城印販売 9/24～12/4
- ・ 松竹梅バージョン御城印販売 12/10～
- ・ 特別展「小田原ゆかりの刀剣」バージョン御城印販売 2/18～3/12
- ・ 信長の野望コラボ北条五代武将印販売 2/18～

④ 小田原市への寄附について

■ 天守閣等管理運営にかかる下記の物品を小田原市へ寄附いたしました

- ・ 展示用史料～北条氏政書状
  - ・ 天守閣 POS レジタッチ決済用データ更新
  - ・ 天守閣プロジェクター用レンズ 3 本
  - ・ 天守閣・常盤木門・歴史見聞館入口泥落としマット
  - ・ 常盤木門 2 階エアコン新調
  - ・ 天守閣、NINJA 館データ集積用 PC 計 2 台
- 以上